

## ベトナム北部に超大型台風が上陸

9月7日、ベトナム北部のクアンニン省に超大型台風「ヤギ」が上陸しました。日本でも暴風雨が吹き荒れる映像が流れていましたので、多くの方が目にされたと思います。この台風は南シナ海では過去30年で最大、ベトナムに上陸した台風としては過去70年で最大の規模で、各地の河川は歴史的な高水位を記録。暴風や洪水、山岳地帯での土砂崩れ、鉄砲水により、海岸地域や山岳地帯を中心に死者・行方不明者は300名以上、負傷者は2,000名に上りました。家屋の倒壊は23万4,000軒以上、学校の倒壊は1,500校以上、送電網の断線や倒壊により広範囲にわたって停電が発生し、多くのインフラ工事が被害を受けました。また、30万7,000ヘクタール以上の水田、畑、果樹園が浸水し、約300万頭の家畜・家禽が死亡、約31万本の街路樹が倒れました。

政府は、「ヤギ」による物的損害総額は50兆ドン（約3,125億円）以上と推定。2024年のGDP成長率予想6.8～7.0%を0.15%低下させる可能性があるとしています。特に被害の大きかった海岸部のクアンニン省、ハイフォン市、ハノイにも近いタイグエン省、山岳地帯であるラオカイ省などの地域別GDPは、台風前の予想から0.5%減少する可能性があります。政府は迅速なインフラ復興と被害者救済を指示し、住居建設の補助や学生に対する授業料の減免、ローン返済の延期といった救済策が関係機関から提示されています。

今回の台風では在留邦人も多くの影響を受けました。在ベトナム日本大使館の聞き取り調査によると、数十社の日系企業が事業活動に影響が生じていると回答。製造業が中心で、工場、生産設備の損壊や電力・水などのインフラの停止が発生しました。ハノイ市内でも日本人が住む住居での浸水被害が数多く報告されたようです。ベトナム保険協会によると、「ヤギ」による損害賠償額はベトナム保険業界の史上最高額になる見込みです。

今回の大型台風の襲来は、世界中で発生している異常気象の一端であり、今後ベトナムもこの規模以上の自然災害が起こりうる事が示されたと言えます。官民挙げての気候変動対策を推進する一方で、大災害を想定したインフラ強化、防災システムの構築も急がれます。

### 大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク

#### 株式会社 NC ネットワーク (ベトナム: NC Network Vietnam JSC.)

日本事務所：東京都台東区東上野1丁目14番5号 ユーエムビル8階

ベトナム事務所：8, No.5 Street, Him Lam, Tan Hung Ward, District 7, Ho Chi Minh, VIET NAM